

# フレコンバッグを利用した堆肥化技術

低コストで良質な堆肥を生産するため、フレコンバッグを用いた堆肥化技術を開発しました。この技術の特徴は、堆肥の生産から運搬まで一貫して同じバッグで行えることで、堆肥生産の省力化と堆肥の供給範囲を広げることが可能です。



容量は約1 m<sup>3</sup>。  
ポリプロピレン製で2回以上の  
使用が可能です。



オガクズ、イナワラなどで水分(60~70%)と通気性の改善が必要です。マニユアスプレッダーを利用することで、より均一に混合できます。



コンパネ等で漏斗型の投入器を作成すれば、バッグへの投入が容易です。堆肥舎での一次発酵処理後に投入することで目減りが少なくなります。



バッグには釣り手があるため、ローダー等での運搬が可能です。



設置の際は、パレットなどでバッグ下部の通気を確保する必要があります。アンモニア等の飛散も抑えられるので、屋根なしの空き地等に設置できます。